

社協だより

2023
4月号
Vol.85

～ともに生きる～
を育む

2月8日 頓原小学校で
『聴覚障がいの理解～手話学習～』が
行われました。



◆ゲストティーチャー
手話通訳者
三澤 砂由美様
(奥出雲町在住)



“元気！”



“こんにちは”



“はじめまして”

「手話で話が
できるっていいね！」

◆4月号の主な内容

頓原小学校福祉学習について(表紙・P2)
赤い羽根共同募金報告 苦情解決の取り組みについて
令和5年度事業計画 香典返し 会長表彰
職員新規採用・異動のお知らせ

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱 1826-2
社会福祉法人 飯南町社会福祉協議会
TEL:0854-76-2170 FAX:0854-76-2086
E-mail:i-shakyo@iinanshakyo.com
URL:https://www.iinanshakyo.com/



～学校と社協が取り組む～

総合的な学習の時間での福祉教育

飯南町社協では、子ども、高齢の方、障がいのある方、すべての人々が『安心して暮らすことができる地域』『生きがいを共に創り高め合うことができる共生社会』を目指し福祉教育を進めています。

学校では、地域に開かれた教育の中で、子どもたちの確かな学力と豊かな心、健やかな身体を育てています。そして、学校と社協が連携して、子どもと地域が共に育つための福祉教育を実践しています。

そこで今回、令和4年度に取り組んだ頓原小学校での福祉教育を紹介します。

◆3年生

「高齢者の気持ちを知らう考えよう」

座学	福祉について
体験	高齢者疑似体験
交流	高齢の方との交流



◆3年生が考えた好きな食べもののクイズで高齢の方と楽しむ

◆4年生

「障がいのある人の気持ちを知らう支えよう」

座学	福祉と障がいについて
体験	ブラインドサッカー
交流	手話学習



◆島根オロチビート浜田 拝上代表を講師にブラインドサッカーを体験

地域



学校

社協

◆5年生

「共に生きる社会について考えよう」

座学	共生社会について
体験	車椅子体験学習
交流	車椅子利用者の方との交流 内部障がいの方の理解



◆5年生が考えた風船バレーで車椅子利用の方と交流



◆内部障がいについて話を聞く

頓原小学校の実践では、総合的な学習の時間の福祉において、3年生で高齢者の気持ちを知り考えることからはじめ、4年生で障がいのある方の気持ちについて学び、5年生でまとめの学習として、共に生きる社会について理解を深めました。地域の方々とのふれあいの中で、正しい知識の習得はもちろん、相手を思いやる気持ちを持って行動する姿など、子どもたちの成長が見えました。



令和4年度 赤い羽根共同募金ご報告

募金総額: **2,443,512 円** (最終)

皆様からお寄せいただいた募金は、社協が行う地域福祉事業、各種団体への公募配分金事業、民生児童委員協議会が行う福祉事業、小中学校・公民館による福祉教育推進事業などに使われます。

令和5年度 赤い羽根共同募金 公募助成事業のお知らせ

飯南町社会福祉協議会では、広域を対象とした福祉活動に対し、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金を原資とする助成を行っています。

- 助成金額 総額30万円
- 申込期限 令和5年5月18日(木)
- 問い合わせ先 飯南町社会福祉協議会
TEL: 0854-76-2170

募金の内訳	
募金種別	募金額
戸別募金	2,026,000 円
学校募金	42,066 円
職域募金	37,000 円
個人募金	104,500 円
イベント募金	57,126 円
街頭募金(中止)	0 円
赤い羽根自販機	72,432 円
町内店舗設置募金箱	64,927 円
募金百貨店プロジェクト	6,000 円
その他	33,461 円



皆様のあたたかいご協力
ありがとうございました。

飯南町社会福祉協議会

事業に関する苦情解決の取り組みについて

飯南町社会福祉協議会では、本会の事業を利用される方や住民の皆様からのご意見や苦情に対し、適切な解決と再発防止に役立てるため、苦情解決体制を整備し、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置しております。

ご意見や苦情などございましたら、下記の窓口までお申し出ください。

◆苦情受付担当者

総務課 奥野 直樹 (TEL: 76-2170)
 地域福祉課 吾郷 由美子 (TEL: 76-2170)
 在宅福祉課 永田 留美子 (TEL: 76-2088)
 居宅支援課 本田 美穂 (TEL: 76-2611)
 あかぎの里 藤原 昌巳 (TEL: 76-2600)
 赤名保育所 大森 浩美 (TEL: 76-2792)
 来島保育所 奥野 陽子 (TEL: 76-3284)
 桜ヶ台保育所 山根 寛子 (TEL: 72-0237)
 さつき保育所 田原 慶子 (TEL: 73-0474)

◆苦情解決責任者

事務局長 景山 知充 (TEL: 76-2170)
 赤名保育所 景山 直美 (TEL: 76-2792)
 桜ヶ台保育所 原 美佳 (TEL: 72-0237)

◆第三者委員

【社協】

赤来地区 中祖 美也子 (TEL: 76-2644)
 頓原地区 三原 愛子 (TEL: 72-0172)

【保育所】

赤来地区 田原 明美 (TEL: 76-2279)
 赤来地区 飯島 良子 (TEL: 76-3219)
 頓原地区 渡邊 陽子 (TEL: 72-1060)
 頓原地区 玉野 厚美 (TEL: 73-0624)

来島保育所 佐藤 孝志 (TEL: 76-3284)
 さつき保育所 田原 慶子 (TEL: 73-0474)

※苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。

基本理念

「一人ひとりのつながりを大切にし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めます」

基本目標

「頼られる社協、応える地域福祉活動を目指します」

「地域共生社会」の実現に向け、関係団体・地域住民と協働し、「多様な人材の確保」「財政基盤の強化」「時代に合わせたICTの積極的活用」を柱に足元を固め、「本会の魅力・福祉の魅力」を大きく発信し、住民の福祉の向上と期待に応えるよう取り組みます。

ここでは、令和5年度に取り組む部門別の重点実施項目や主な事業を紹介します。

法人運営部門

地域福祉推進部門
ー地域福祉課ー

- ・伝送システムを活用した事務量の軽減とオンライン環境の整備
- ・労働安全衛生法を遵守した職員の安全と健康管理
- ・飯南町共同募金委員会、日赤飯南町分区の継続した取り組み

- ・第3次飯南町地域福祉活動計画に沿った事業展開を行う
- ・丁寧な個別支援活動と地域づくりの活動を総合的に展開する
- ・地域活動の『つながりの再構築』を図っていくために、学校や地域、民生児童委員協議会、公民館等と連携して福祉教育に取り組み、人権意識を高め、共に生きる力を育む

【実施事業】

小地域福祉活動推進事業/生活支援体制整備事業/ふれあいいきいきサロン事業
ボランティアセンター事業/福祉教育推進事業/総合相談事業/権利擁護事業
単身高齢者、高齢者等世帯事業/貸付相談事業/いーなんシルバーおたすけ隊事業
配食サービス事業/地域福祉諸団体との連携事業/災害ボランティアセンターの設置運営等



■今年度から、社協地域福祉課が民生児童委員協議会事務局を担当します。

在宅福祉課

介護保険部門

◆通所介護事業係

- ・利用者の方の日々の状態把握に努め、安全に一日を過ごしていただく
- ・家族や関係機関と連携し、悪化防止と早期発見・対応に努める
- ・利用者の方が抱える生活上の悩みや困りごとを打ち明けていただけるよう信頼関係を構築し、住みやすい環境となるよう、相談や提案を行う

【実施事業】通所介護事業（介護保険・事業該当者）/障がい者総合支援法による生活介護事業
来島高齢者生活福祉センター事業（居住部門・生活管理短期宿泊事業・冬期宿泊センター）

◆訪問介護事業係

- ・利用者の方の意志や人格を尊重し、個々の立場に立った質の高いサービスの提供を行う
- ・地域の持つさまざまな福祉サービスと密接な連携を図り、信頼関係を構築し、相談しやすく利用しやすい事業所を目指す

【実施事業】訪問介護事業/障がい者総合支援法による居宅介護事業/法定外福祉サービス事業

「住み慣れた地域で、自分らしく穏やかに安心して暮らせるように」
入居者お一人おひとりの気持ちや要望に寄り添い、安心して暮らすことができるよう職員全員で支援します。

- ・入居者、職員間でも相手を尊重し、相手のために心を配ることを意識し、穏やかにケアに向き合う
- ・感染症等が施設内で発生した場合を想定したBCP（業務継続計画）の策定
- ・新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、変化する感染予防対策の情報を収集しながら対応の緩和に向け対策を再検討していく
- ・多職種協働と専門機関との連携に努める
- ・介護ロボットの導入、施設内の環境を整える

居宅支援課

- ・医療との連携の強化と個別支援から見えてくる生活課題の発見やニーズの把握を行い、地域の課題解決や社会資源の開発など地域生活支援へと結び付けていけるよう働きかける
 - ・介護者のライフスタイルや介護負担に配慮し、在宅介護の継続を支援する
 - ・認知症の重度化予防や権利擁護に配慮し、暮らしをサポートする
 - ・感染症や災害に備え、事業継続計画の策定、研修、訓練実施を進める
- 【実施事業】介護保険におけるケアプランの作成/要介護認定訪問調査
障がい者総合支援法による計画相談支援



保育所

- ・地域の子育て支援の中核施設としての役割を担い、子育て中の保護者に寄り添った保育所を目指す
 - ・安全な環境で乳幼児の健やかな成長を支援するよう、職員間の協力体制を強化する
 - ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(改定保育指針)を目指した保育に取り組む
 - ・保育士確保対策事業を行う ・保育士の研修強化、保育の質の向上
- 【実施事業】保育所運営（子育て相談 延長保育 一時保育）
子育て支援センター事業/ファミリーサポートセンター事業

令和5年度 当初予算

-事業活動収支予算額-

収入の部 (単位:千円)		支出の部 (単位:千円)	
会費収入	2,570	人件費支出	443,302
寄付金収入	2,500	事業費支出	107,715
経常経費補助金収入	44,865	事務費支出	26,159
受託金収入	252,427	利用者負担軽減額	424
貸付事業収入	300	貸付事業支出	300
事業収入	3,410	分担金支出	170
介護保険事業収入	267,268	助成金支出	3,471
障がい福祉サービス収入	850	負担金支出	1,544
その他の事業収入	549	施設整備支出	10,190
助成金収入	80	その他の活動支出	0
受取利息配当金収入	17	当期資金収支差額	△1,150
その他の活動収入	17,289		
合計	592,125	合計	592,125

こころん

飯南町社協マスコットキャラクター

ご寄附をいただきありがとうございました

皆様の善意は飯南町の社会福祉のために、有効に活用させていただきます。

(令和5年 1月 1日～令和5年 3月31日受付分)

※当法人は社会福祉法人であり、本寄附は所得税法第78条の寄附金控除の対象となる場合がありますので、当該領収書は大切に保管ください。

寄附者名	住所	故人名
大野 順子	頓 原	小林 清子
宅野 真由美	頓 原	宅野 幸徳
三島 正博	上 赤 名	三島 久恵
澤田 浩二	野 萱	澤田 宗二
永井 あけみ	小 田	永井 徳弘
倉橋 宣	野 萱	倉橋 仁
宇治田 廣海	下 来 島	宇治田 八代枝
谷 川 英和	上 赤 名	谷 川 豊
柳 原 慶子	野 萱	柳 原 政雄
田村 亜矢	上 赤 名	後長 文男
戸田 陽子	東 広 島 市	戸田 美紀江
本間 喜治	花 栗	本間 英子
中村 裕子	下 赤 名	中村 裕之
早船 喜美子	上 赤 名	早船 浩
堀江 由起夫	頓 原	堀江 定夫
景山 良一	都 加 賀	景山 道夫
吾郷 浩彦	三 次 市	吾郷 映子
藤原 稔	都 加 賀	藤原 康子
難波 健治	上 赤 名	難波 幾子
酒井 敦夫	真 木	酒井 保
加瀬 部 勝	小 田	三 上 幾子
三島 崇暁	上 赤 名	三島 猛登
薬師 正登	広 島 市	薬師 ミツエ
渡邊 周子	小 田	渡邊 春海

香典返し

(敬称略)



松浦 重富 様 (真木)

感謝状
贈 呈

10年間にわたる配食サービス事業の友愛訪問活動に対して、松浦 重富様に飯南町社会福祉協議会会長より感謝状と記念品を贈りました。

配食サービスを利用されている皆さまへの声かけや見守りなど、ご協力をいただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

★こもれび相談 (心配事相談) ※予約制

毎月第2・第4水曜日 10時～15時

★法律相談 (偶数月第3木曜日) ※予約制

4月20日㊦ ・6月15日㊦

時間: 13時30分～15時30分(1人30分)

場所: 来島保健センター

■問い合わせ先 飯南町社会福祉協議会
TEL: 0854-76-2170

どちらもケーブルテレビでお知らせします。

役員退任のお知らせ (敬称略)

【理事退任】 松原 操

【評議員退任】 森口 安信 高尾 健司

職員新規採用・異動のお知らせ (R5.4.1 付)

◆新規採用

総務課	山下 沙織	
地域福祉課	原 英里子	
あかぎの里	堀越 実里	山中 律子
	片地 穂香	板垣 愛美
	瀬戸内綾那	
居宅支援課	石橋 基紀	
赤名保育所	安部 凌生	
来島保育所	吉田 滯弥	
桜ヶ台保育所	藤原 日向	

◆異動・昇格 (前任は省略)

奥野 匠	あかぎの里副施設長
齋藤 崇	あかぎの里主任
大森 浩美	赤名保育所主任保育士
大島 佐奈江	赤名保育所保育士
山根 寛子	桜ヶ台保育所主任保育士
中岡 鈴愛	桜ヶ台保育所保育士
日高 遥	さつき保育所保育士